

コロナ終息後に一度は行っておきたいお店ベスト3

1位:くるみの木

空間コーディネーターとしても知られる石村由起子さんは、1984年に雑貨店を併設したカフェ「くるみの木」を開業しました。おもてなしの心で作っているランチや自家製のデザート、そして器や果実酒の並ぶ空間が広がり、多くの人々を魅了し続けています。また緑深い敷地内には、生活道具や食材が並ぶ「カージュ」、着心地の良い服や小物が並ぶ「ノワ・ラスール」の2つのショップと、ケーキ工房が併設されています。行列覚悟でぜひ行ってみてください。

2位:ほうせき箱

餅飯殿のセンター街にあり、かき氷で有名ですが、茶がゆや葛を使ったスイーツなども提供しているほうせき箱。ほうせき箱のかき氷の特徴は、食べた後のキーン!!とする感じがしないように氷の温度を調節していたり、通常のかき氷には甘いシロップがかけられていますが、「エスプーマ」という食材をムースのような泡状にする手法を取り入れています。

3位:志津香

奈良で50年以上営業を続けている釜めしで有名なお店です。注文後に職人がひとつずつ炊き上げる釜めしは、こんぶと鶏ガラをベースにした出汁の味が絶品です。四季折々の食材を使った釜めしが提供され、春は山菜・秋は栗やマツタケ・冬は牡蠣など、季節ごとに訪れたくなくなるバラエティの豊富さも魅力です。

[春の豆知識]

【豆知識1】 東京の開花宣言に使われる桜は!?

靖国神社にある1本のソメイヨシノに5~6輪花が咲けば、開花宣言となります。

日本の各都道府県に1本ずつ決められている「標本木」という桜で、開花しているかを確認します。標本木はすべてソメイヨシノです。

開花と満開の見分け方は次のとおり。

- ・開花：5~6輪花咲いた状態
- ・満開：8割以上開いた状態

【豆知識2】 桜の枝はなぜ折ったらダメなのか!?

「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と言うことわざがあります。このことわざの意味は、桜の枝はそのままの状態で切らないほうが、半球の形をした綺麗な姿になると言われています。一方、梅は枝を切ってやらないと立派な花を咲かせないし、実をたくさん収穫することも出来なくなるんです。ことわざは先人の知恵ですが、実際に桜の枝を切ると、切り口が腐って